

あとがき

週刊医学界新聞をご存知でしょうか。医学書院が1955年に創刊し、医学・医療の最新トピックを伝え続けてきました。その前身は科学図書新聞で、1955年2月(153号)から醫學界新聞と改題されました。1955年生まれということは私と同年。来年で60周年を迎えます。前身の科学図書新聞からは1昨年3000号を迎えたことになり、その際の高原優医学書院社長の言葉のとおり、約60年間一貫して医学・医療関連領域の最新のニュース、医療制度・医学教育制度の改革ならびに医学研究と医療技術の進歩、医学関連学会の動きなどをいち早く伝え、医学・医療関連領域の発展、進歩に大きな貢献をしてきました。今後も医学新聞としての先進的な役割を果たしていただきたいと思います。

さて、今月号の特集は「鼻副鼻腔内視鏡手術 Update」です。60年前の鼻副鼻腔手術といえば当教室の西端驥一教授が polysinusectomy や pansinusectomy として多くの副鼻腔手術法を発表していた頃ですが、当時は副鼻腔の単洞化と副鼻腔粘膜全剝離・除去を裸眼下に行うのがコンセプトでした。しかし、1970年頃から内視鏡が導入され、Messerklinger や Stammberger によって可及的に粘膜を保存する functional endoscopic sinus surgery (FESS) が提唱され、1990年頃からは ESS として副鼻腔手術の主流になりました。額帯鏡を用いて裸眼で行っていた頃を思い起こしますと本当に隔世の感があります。今回の特集では前頭洞炎を含めた慢性副鼻腔炎に対する内視鏡手術から、やや特殊な好酸球性副鼻腔炎や副鼻腔真菌症から鼻副鼻腔良性腫瘍や下垂体腫瘍、眼窩吹き抜け骨折まで臨床の現場で遭遇する対象疾患をほぼ網羅しています。副鼻腔疾患以外でもアレルギー性鼻炎や鼻涙管狭窄・涙道閉鎖、鼻出血など内視鏡手術の良い適応になる疾患も含めました。また、鼻副鼻腔内視鏡手術では常に合併症が問題となりますが、その回避法・対処法についても詳しく解説していただきました。本格的な手術書で学習することも重要ですが、手術前に術式を再検討したり、術中に手軽に確認するなど、本特集を手元において鼻副鼻腔内視鏡手術に関する最新情報を手軽に活用していただきたいと思います。自信をもってお勧めしますので、ぜひご一読ください。(小川 郁)

本誌は1928年に久保猪之吉によって「耳鼻咽喉科」として創刊され、1988年に「耳鼻咽喉科・頭頸部外科」と改題いたしました。

編集顧問

佐々木 好久
曾田 豊二
坂井 真

八木 聡明
竹中 洋

編集委員

吉原 俊雄
小川 郁
丹生 健一

耳鼻咽喉科・頭頸部外科 (第86巻 第7号)
2014年6月20日発行(毎月1回20日発行)

発行 株式会社 医学書院
代表者 金原 優

定価: 本体 2,600 円 + 税

2014 年年間購読料 (増刊号を含む 13 冊, 税・送料込)
冊子版/通常 41,490 円 冊子版/個人特別割引 39,370 円
電子版/共有 47,700 円 電子版/個人特別割引 39,370 円
冊子+電子版/共有 52,700 円
冊子+電子版/個人特別割引 44,370 円

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23
電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5710 (担当 西塚・安部)
販売部直通 (03) 3817-5659
ファクシミリ (03) 3815-7802 (編集室)
E-mail: jikotokei@igaku-shoin.co.jp
振替口座 00170-9-96693 番
印刷所 三報社印刷(株) 電話 (03) 3637-0005
広告申込所 (株) 文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

・医学書院ホームページ(インターネット)は
Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/> です。
・「耳鼻咽喉科・頭頸部外科」のページは
<http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/jikotokei/> です。

・Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2014, Printed in Japan
・本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信(送信可能化権を含む)に関する許諾権は医学書院が保有しています。
・本誌を無断で複製する行為(複写, スキャン, デジタルデータ化など)は, 「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的(診療, 研究活動を含む)で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
・[JCOPY] < (株) 出版者著作権管理機構 委託出版物 >
・本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は, そのつど事前に, (株) 出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。
*「耳鼻咽喉科・頭頸部外科」は株式会社医学書院の登録商標です。